

「非イオン性ヨード造影剤の分布容積と血液データを含む
被検者因子との相関に関する検討」

1. 研究の対象

当センターに通院または入院中の患者さんで、2017年1月1日から2017年12月31日の間に当センターで通常の診療行為においてX線造影CT検査を受けた方

2. 研究目的・方法

「目的」 CT撮影における造影剤投与量の標準化

「方法」 対象患者さんの造影CT画像から推算分布容積を算出し被検者因子や造影剤因子との相関関係を明らかにする。

「研究期間」倫理委員会承認後～2026年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類、取得方法

試料：なし

情報：年齢、性別、体格パラメータ（身長、体重、BMI、体表面積除脂肪体重など）、血液データ（eGFR、Hct、Hb、TP、AST、ALTなど）CT画像（各撮影時相における大動脈及び肝臓のCT値）、CT検査時に使用したCT装置・撮影条件・造影剤投与量

取得方法：通常の診療行為により得られたデータ

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関である森ノ宮医療大学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は当センターの研究責任者が保管・管理をします。

提供先：森ノ宮医療大学

5. 研究組織

- | | | |
|------------------|----------------|---------|
| 1.大阪急性期・総合医療センター | 医療技術部放射線部門 | 宮原 哲也 |
| 2.森ノ宮医療大学 | 医療技術学部 診療放射線学科 | 教授 山口 功 |
| 3.大阪急性期・総合医療センター | 医療技術部放射線部門 | 玉井 利尚 |

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲
内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さん
の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先
までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター 医療技術部 放射線部門

研究責任者：診療放射線技師 宮原 哲也

電話 06-6692-1201 内線 5113

研究代表者：大阪急性期・総合医療センター

医療技術部 放射線部門 宮原 哲也